

## 前立腺癌の重粒子線治療を受けた患者さん方へ

量子科学技術研究開発機構では、前立腺癌の重粒子線治療の精度を向上させるために金マーカーの留置を患者様に提案させていただいております。今後、金マーカーを使って、より高精度な治療へと発展させるための研究を行います。そのためにこれまで前立腺癌の治療の際に金マーカーを留置した患者様方の、診療のために行なった画像検査のデータを中心に解析させていただく研究を予定しています。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。

[研究課題名] 前立腺癌重粒子線治療における金マーカーガイド下画像誘導治療の最適化の検討

[実施期間] 許可日～2022年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 QST病院

[研究責任者] 岩井 祐磨

[研究の目的] 照射中に取得した画像を用いて、照射中の金マーカーの動きを計測画像上で計測します。実際の治療計画用のCT上で照射範囲を狭くしたり、位置を移動させることで当たり方を検証します。その上で金マーカーを使用した際の最適な照射方法を算出することが目的です。

[研究の方法・データの使用方法]

### ●対象となる方々

2020年10月1日～2020年11月30日に金マーカーを留置し前立腺癌の重粒子線治療を受けた方

### ●利用する情報及び利用方法

治療の際に撮影した治療用のCT画像や位置照合確認のために行なったX線透視画像を中心に必要に応じて重粒子線治療最終日までに行われたデータを情報取扱いの安全管理された電子システムにより集計します。新たな質問や検査はありません。重粒子線治療実施前に行った包括同意において、診療情報の二次利用について同意いただけなかった場合には研究の対象から除外いたします。

[個人情報の取り扱い]

治療時の病気のリスクや、治療前のCT画像、治療中の位置合わせ画像を解析します。集めた情報は個人が識別できないように解析に必要な情報を切り離して研究を行います。集めたデータは病院内で保存し、データはパスワードをかけて保護します。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門

QST病院 岩井 祐磨 電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）

